






入院診療計画書② 大腿骨頸部骨折に対し骨接合術を受けられる方へ

作成日：新規作成日

患者ID: 患者ID
患者氏名: 氏名 様
看護師名: 担当看護婦
主治医名: 氏名

医療者用 ⑧

(地域連携パス対象)大腿骨頸部骨折地域連携パスで術後の転院調整を行わせていただくことがあります。

月日(日時) 経過(病日等)	入院	1月1日 手術当日	1月2日 術後1日	1月3日～1月10日 術後2日～10日	1月11日～退院/転院 術後11日～退院・転院
達成目標	入院・手術に対するオリエンテーションが理解でき、手術を受ける準備ができる	不安が軽減し手術ができる。手術後の異常・痛みを訴える事ができる。	手術後の異常や痛みを訴えることができる。 尿管による合併症を起こさない	痛みが和らぎ歩行ができる。リハビリに意欲がある。	退院可能な日常生活動作を獲得できる不安なく退院・転院できる
治療・薬剤 (点滴・内服)	内服薬の確認をします。お薬・お薬手帳をお持ちください。薬剤師が薬の指導に伺います 	お薬は指示されたもののみ内服します。手術前に点滴をします(手術が8時半予定の方は手術室で行います)	食事が十分にとれれば点滴終了です。痛み止めの内服が始まります。中止薬がある場合再開の確認をします		
処置	手術部位に印を付けます。血栓除去に弾性ストッキングをはきます	医師の許可ができるまで、酸素マスク・心電図モニター・血栓予防の器械をつけます	医師の許可で、酸素マスク・心電図モニターを外します。歩行が出来たら血栓予防の器械は外します	術後2日目に傷の消毒をします。術後10日で抜糸です	
検査		手術後にX線検査・採血があります	朝、血液検査があります		
活動・安静度 リハビリ	ベッド上安静です。痛みの範囲内でベッドアップします	手術後は翌朝までベッド上安静です	車いすまたは医師の指示で歩行が出来ます。動作が安定するまで看護師が付き添います。リハビリが始まります		
食事	21時から飲んだり食べたりできません	飲んだり食べたりできません	お腹の動きを確認してから飲食再開です		
清潔	身体をきれいにします。自宅で入浴された方は看護師に伝えてください	手術前に歯磨きを念入りに行ってください	身体を拭きます	傷口を透明のフィルムで覆えばシャワーができます	
排泄	排泄はベッド上です。尿管が入ることがあります		尿の管を抜きトイレに行けます		
患者様及びご家族への説明 生活指導	入院・手術のオリエンテーションをします 同意書をご持参ください。手術室看護師の訪問があります。麻酔科医の診察があります。 ※65歳以上の方は介護保険の申請を検討して下さい。スリッパではなく履きやすい靴・靴べらをご持参下さい 地域連携パスの説明をします	点滴前に手術着に着替えます。ご家族は手術30分前にお越しください。手術後は帰室後1時間・2時間後以後4時間ごと検温に伺わせていただきます。手術時間にケースワーカーと面談をしていただくことがあります。	退院調整を行っていきます ☆当院は急性期の病院です。退院目標日までに退院できない場合は回復期や療養型の病院に転院のご相談させていただきます。リハビリ状況みて調整をさせていただきますのでご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。横須賀市内の転院調整できる病院は限られております。市内の病院以外の転院もありますが御理解の		術後10日～退院・転院です 退院日をご相談ください ※整形外科病棟(急性期病棟)にはおよそ2週間の入院になります リハビリは転院して行います。

注1病名・入院期間等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2入院期間については現時点で予想される期間です。

横須賀共済病院 整形外科 2016.6作成